

平成 23 年 8 月 17 日 (水)

(7) 中国経済 16 版

中国ブロック 経済

「老後の不安を和らげたい」と話すのは、橋口司法書士事務所(広島市中区)の橋口貴志所長。高齢者を対象に、老後の生活資金計画作成などを一括して担う会員制サービスを手掛ける一般

広島

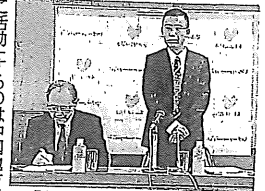
老後の人生設計をサポート



社団法人を設立した。「親戚と疎遠になったり、子どもを持たなかったりする単身者が増えている」と高齢者を取り巻く環境の変化を指摘する。葬儀や遺品整理など死後の事務手続きも引き受ける。法人は弁護士など専門家で組織する。「豊かに暮らしてもらうため、その人に合った人生設計を提案したい」(三浦充博)

2011年(平成23年)8月30日(火曜日)

一人暮らし高齢者 支援センター設立 ―広島司法書士ら



「きらり」設立の狙いを語る
橋口理事長(左)

広島市を拠点に活動する司法書士や弁護士が、一人暮らしの高齢者の生活を支える一般社団法人「人生安心サポートセンター」(中区)を設立し、20日に業務を始めた。医療・介護サービスや財産管理など幅広い専門分野で二元的に支援

する中国地方では珍しいという。親戚に世話を頼みにくかったり身寄りがなかったりする65歳以上と、65歳未満でそれぞれ会員を募っている。スタッフが電話や面談で相談に応じる。入会金2万円、月5千円の会費を払えば月5

時間まで相談やサービスが受けられる(65歳未満は月3千円で3時間まで)。具体的には医療・介護施設に同居する際に運搬保証人や身元引受人になってもらったり、不動産や年金を活用した老後の資金計画を作ってもらったりできる。面談による定期的な安全確認もある。理事長の司法書士事務所長、橋口貴志さん(7)は29日(中区)記者会見し「高齢者の多様な相談に二元的に対応し、安心した老後を送る力になりたい」と述べた。きらり080-2-2221-2000。(数通孝匡)